

## 第2回地域保健福祉部会（H30.11.1）における主な意見

資料1-1

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
1	久木委員	鶴見区はメタボ該当者が多いということで、ウォーキングは効果があると思うが、具体的にどのように取り組んでいこうと考えているのか。また、年1回ではなく、月1回から月2回などステップアップしていくプログラムも良いのでは？	健康づくりに取り組んでもらうきっかけづくりとして、ウォーキングには以前から取り組んでおり、昨年からは鶴見緑地を活用している。今年度は2回実施するが、回数など実施方法については参加者アンケートの結果を見ながら検討していく。
2	久木委員	大阪市の委託事業として、社会福祉協議会が行う介護予防教室（ステップ教室）は、毎月体操の他、小物づくりや栄養指導など様々な内容を行っている。そことウォーキング教室がコラボしてみるというのはどうか？	ステップ教室は介護予防の講座であり、持病を持っている方の参加も多く、ウォーキングが難しい方も多いが、メニューについて、今後区社会福祉協議会と検討していく。
3	吉江委員	健康づくりは、やっている人はやっているが、しない人は全然していない。区として、啓発を行ってほしい。	色々な人に健康づくりに取り組んでもらえるよう、特に課題としている生活習慣病予防の観点を含め、内容を検討・工夫し周知を図っていききたい。
4	吉江委員	百歳体操は集会所など色々なところでやっているが、メンバーがだいたい一緒。ふれあい喫茶と組み合わせなど相乗効果を図ればよいのでは？	体操終了後、工作を行ったり歌を歌うなど、地域ごとに特色をもって取り組まれている。その特色を大切にしながら、取り組みを進めていききたい。
5	柴田委員	百歳体操について、地域でビデオを見ながら実施しているが、区からもたまに来て指導してほしい。	百歳体操を地域で実施されるにあたっては、初年度立上げ時に4回、次年度以降は1回、希望により理学療法士、保健師の派遣を行っている。

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
6	久木委員	担い手の確保に対する解決策がない中で考えるとすれば、いろいろな課題を拾いすぎないで、課題を絞って検討してみてもどうか。	<p>担い手の確保に向けては、引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>福祉施策に関しては様々な課題があり、その解決に向けた施策を推進しているところであるが、優先的・重点的に取り組んでいくべき課題については区社会福祉協議会、包括支援センターと連携し、スピード感をもって対応していく。</p>
7	高田委員	地域の担い手がないことへの対策として、具体的にツルラボ・つるばた会議で交流を図るとしているが、何か具体的なものはあるのか。	<p>先日のツルラボで、若者が地域の人とのつながりを実感したことや地域貢献への機運醸成につながったことなどの報告があった。</p> <p>ツルラボのように各地域の担い手が集い、一つのテーマについて語り合い情報を共有し、それを地域に持ち帰り見つめ直すきっかけになっていくような場づくりをこれからも作っていきたい。</p>
8	久木委員	区社会福祉協議会に対し、公的な福祉サービスのはざまにある方への対応策となる事業を新たに委託するのか。	現在、鶴見区で実施している福祉サービスのはざまを埋める事業である有償ボランティア事業「あいまち」を引き続き周知・拡充していきたい。
9	久木委員	区社会福祉協議会に委託している地域福祉事業の取組みの中で出来たことの成果報告だけではなく、浮きぼりになった課題の検証が必要ではないか。	区としては事業報告を受けるとともに委託先と定期的に協議し課題は把握している。地域福祉は8050問題など、課題が多岐にわたるため、事業を進捗管理する中で、地域における特徴や抱える課題を記載した「地域福祉カルテ」を作成し、地域に情報提供し、地域とともに課題解決策を検討していく。

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
1 0	山田委員	有償ボランティアの活動内容の類型化ができないか。	鶴見区有償ボランティア制度「あいまち」の活動に関しては、部屋の掃除や庭の草ひき、家具の移動など一定の類型化は出来ている。活動者と依頼者のマッチングをきめ細やかに行うことで、相互支援の体制を維持し、福祉的なニーズに柔軟に対応している。
1 1	久木委員	地域福祉カルテは区役所だけでつくるのか。	区役所職員（市民協働、保健福祉）、3地域包括支援センター、区社会福祉協議会、まちづくりセンターなど関係機関と一緒に鶴見区地域健康福祉戦略会議の場で議論しながら作成していく。
1 2	山田委員	<p>地域の人材は減ってきており、都市化が進みワンルームマンションの住民は町会に入らない。</p> <p>榎本地域では、新築住宅に対する町会加入については、開発業者を呼んで、入居者に町会に入るようお願いしている。</p> <p>区役所も直接言えないまでも婉曲的に業者が入居者に説明するよう言ってほしい。</p>	<p>大阪市市民局は、ワンルームマンションの建築主（届出人）と協議し、入居者に対する地域活動への協力の働きかけを行い、情報の一部を区に提供している。</p> <p>区としては、地域住民とのコミュニティ形成のきっかけづくりのため、市民局から情報提供があった場合、地域に情報提供を行っている。</p> <p>また、区広報紙等に町会加入促進の記事を掲載しており、転入者リーフレットにも掲載する予定である。</p>
1 3	高田委員	地活協の役員になって1年になるが、まだまだ地域のことがよくわからない。どうすれば色々な情報が入手できるのか聞きたい。	<p>区役所でも色々と事業やイベントを実施しているが、区政会議の委員には、毎月区役所が行う事業やイベントのチラシを配布している。時間があれば参加、実体験していただきたい。</p> <p>また、各地域活動協議会の広報紙やHPからも地域活動を知ることができ、区役所庁舎1階待合ロビーに12地活協の地域広報紙を掲示及び配架している。</p>